

重要

4 教職履修カルテ 入力マニュアル

※本マニュアルに掲載の教職履修カルテ画面の画像は旧システムの内容です。新システムでは一部表示内容が異なります。新システムの画像は現在準備中です。不明点がある場合は、免許資格課程センター事務室までお問い合わせください。

◇今年の入力期間

2025年10月27日（月）～10月31日（金）17：00（厳守）

◇来年以降の入力期間

3月中旬の秋学期成績通知日～4月15日 17：00

<<履修カルテ入力時期>>

	1月	2月	3月	新年度/4月
1年次				1年次のまとめ記入
2年次				2年次のまとめ記入
3年次				3年次のまとめ記入
4年次	4年次のまとめ記入			

一般登録期間後に記入

秋学期成績通知以降に記入

目 次

1.はじめに

- (1) 教職課程履修カルテについて・・・p 1
- (2) 教職実践演習について・・・p 2

2.履修カルテの入力について

- (1) 入力上の注意・・・p3
- (2) e-class での作成方法・・・p3

3.詳細な入力方法・内容について

- (1) 必要な資質能力についての自己評価・・・p 5 ～ 11
 - a) どのような教師になりたいか・・・p 6
 - b) 今年次の教職課程の履修のまとめ・・・p 6
 - c) 自己評価シート・・・p 7
 - d) 今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能や次年度の目標、取り組むべき課題・・・p 8
 - e) 記入した内容を修正する場合・・・p 12
 - f) 【大学院生、転・編入学生対象】他大学での履修のまとめ・・・p 12
 - g) 教員のコメント・・・p 13
- (2) 活動報告(介護等体験レポート及び教育実習レポート)・・・p 14
- (3) 面談記録・・・p 14
- (4) その他の教職に関する活動等・・・p 16

1. はじめに

(1) 教職課程履修カルテについて

【作成の目的】

同志社大学卒業の教員としての自覚を持ち、自らが教員になるための最小限必要な資質能力を持つため、自らの不足している知識を認識し補い克服するとともに、自らの長所を客観的に評価し伸ばすことができるようになることを目的とする「教職実践演習（中・高）」での指導をより効果的なものとするために、学生の教職課程全体をとおとしての学習内容や課題を担当教員が把握することを目的としています。また、教職課程履修カルテ（以下、履修カルテ）を作成することにより、学生が自分自身で教職課程を振り返り、教員になるために必要な事柄を把握してそれに向かって努力を行っていくことを期待するものでもあります。

【作成時期】

教職課程履修1年目から教員免許取得まで、e-classにて継続して作成します。

今年度の入力期間は下記の通りです。

10月27日（月）～10月31日（金）17:00

【内容】

教職課程履修カルテの内容は下記の通りです。

>>必要な資質能力についての自己評価

>>活動報告（介護等体験レポート及び教育実習レポート）

>>面談記録

>>その他の教職に関する活動等

『必要な資質能力についての自己評価』の中では、記入の時点で「自分がどのような教師になりたいか？」について記入します。

また、「介護等体験事前指導レポート（中一種免のみ）」、「介護等体験事後レポート（中一種免のみ）」、「教育実習希望者説明会レポート」、「教育実習事前指導レポート」を別途説明会等で作成してもらいます。これらすべてを含めて、同志社大学教職課程履修カルテとなります。これらのレポートは『活動報告』にアップロードされます。

(2) 教職実践演習について

【科目の趣旨】

2006 年 7 月の中央教育審議会答申（「今後の教員養成・免許制度の在り方について」）において、「教職課程の質的水準の向上」を目的として大学において「教職実践演習」の新設・必修化が提言されました。これをうけて、2008 年 3 月に「教育職員免許法施行規則」が改正され、本学においても 2010 年度入学生より「教職実践演習（中・高）」（秋学期後半：2 単位）が必修となりました。この科目は「教員として最小限必要な資質・能力を確実に身に付け、またそのことを確認する」科目であり、教職課程における「総まとめ」の科目として位置づけられます。

【同志社大学における教職実践演習の概要】

① 開講時期

4 年次秋学期後半に開講します。「教育実習 B/C」と「教職実践演習（中・高）」は同じ曜日・講時に開講されます。授業は 2 コマ連続で行う予定です。

② 授業形態

履修者数 50 人程度で演習形式が中心となりますが、他のクラスと合同での講義を行うこともあります。

③ 授業内容

教職課程の総まとめとして、これまでの教職課程の履修をふりかえることにより、自らの不足している教員としてのスキルを認識したうえで、教員として必要な資質能力とは何かを考えます。

また、同志社大学卒業の教員、出身学部卒業の教員としての強みとはなにかを考え、これから教員になるにあたり自らの目指すべき理想の教員像や克服すべき課題を明確にします。

④ 履修登録

4 年次（教育実習実施年度）の教職科目の履修登録の際に行います。

⑤ その他

「教育実習 B/C」、「教育実習指導」、「教職実践演習（中・高）」の履修登録を行うためには、次に説明する「履修カルテ」の作成が必須となります。これらの科目の履修年度の 4 月初めにおいて履修カルテが未記入の場合、これらの科目の履修は認められません。

2. 履修カルテの入力について

(1) 入力上の注意

本履修カルテは、同志社大学の e-class システムを利用して、入力する仕組みになっています。

Web の利用にあたっては、ネットワーク利用資格認定試験に合格する必要があります。

入力にあたっては、本学発行のユーザ ID とパスワードが必要になります。

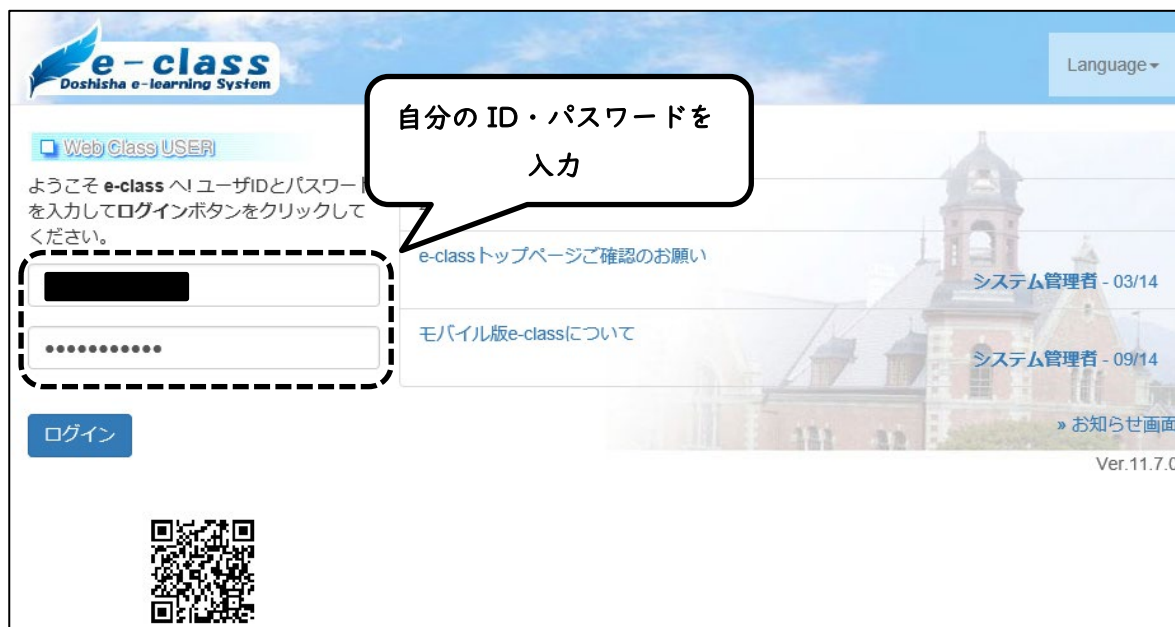
履修カルテは、指定された期間に、指定された項目全てを、必ず記入するようにしてください。履修カルテに記入を行った日時はシステム上に記録されます。

教職実践演習の履修年度（通常は4年次）の4月初めにおいて、履修カルテが未記入の場合、教職課程履修の意志がないものとみなし、「教職実践演習（中・高）」、「教育実習指導」、「教育実習」の履修が認められないことがあります。

今年度は 10 月 27 日（月）～10 月 31 日（金）17:00 の期間に入力が可能になります。

(2) e-class での作成方法

①e-class のトップページ <https://eclass.doshisha.ac.jp/> から e-class にログインして下さい。



e-class へのログイン方法は、e-class の学生用マニュアルを参照してください。

ログインすると下記の画面が表示されます。

②履修カルテへログインするには、下記の画面をクリックします。

The screenshot shows the e-class homepage. At the top, there's a header with 'e-class', a user profile (5th year student), and a 'Logout' button. Below the header, there's a sidebar with '科目' (Subjects) and 'マニュアル' (Manual). The main content area has a '学習記録ビューア' (Learning Record Viewer) section with a dashed box around the '教職履修カルテ' (Teaching Practice Portfolio) link. A callout bubble points to this link with the text '教職履修カルテをクリック' (Click on Teaching Practice Portfolio). Below this, there's a '管理者からのお知らせ' (Notice from Administrator) section with a list of recent notices. At the bottom, there's a '参加している科目' (Subjects I am participating in) section with a dropdown for '表示する学期' (Select the semester to display) set to '2023' and '春学期' (Spring Semester). A note below states: '※ 表示科目は、担当教員がe-classの利用申請を行った科目のみです。' (※ The displayed subjects are only those for which the assigned instructor has applied for e-class use.) and '※ e-classシステムにログインした画面を複数立ち上げると個人データが破損したり、レポートが正常に提出できなくなる恐れがあります。' (※ Logging into the e-class system with multiple windows open may cause personal data to be corrupted or reports to be submitted normally.)

下記の画面が教職履修カルテ入力画面になります。

The screenshot shows the 'Teaching Practice Portfolio' input screen. At the top, there's a link 'コースリストに戻る' (Return to Course List) and a large title '教職履修カルテ'. Below the title, there's a list of items to be input, each with a callout bubble explaining its requirements:

- 必要な資質能力についての自己評価 (Self-evaluation of necessary qualities and abilities) - Callout: 【必須】 毎年度末に必ず入力 (【Required】 Must be input every year-end)
- 活動報告 (介護等体験レポート及び教育実習レポート) (Activity report (Welfare experience report and education internship report)) - Callout: 入力不要 (事務室が Upload) (Input not required (Office will upload))
- 面談記録 (Interview record) - Callout: 入力できる事項ができた時に (When the items that can be input are completed)
- その他の教職に関する活動等 (Other activities related to teaching practice)

3. 詳細な入力方法・内容について

(1) 必要な資質能力についての自己評価

『必要な資質能力についての自己評価』をクリックし、各項目を記入します。

こちらは毎年度入力が必要です。基本的には毎年度3月中旬の成績通知日から4月中旬までの間に必ず記入をしてください。今年度は4月25日(木)17:00までに入力を完了してください。

[コースリストに戻る](#)

教職履修カルテ

『必要な資質能力についての自己評価』をクリック

» 必要な資質能力についての自己評価

» 活動報告(介護等体験レポート及び教育実習レポート)

» 面談記録

» その他の教職に関する活動等

下記の画面が『必要な資質能力についての自己評価』の入力画面になります。

[コースリストに戻る](#)

教職履修カルテ

カルテ名 必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力についての自己評価

教職学生情報

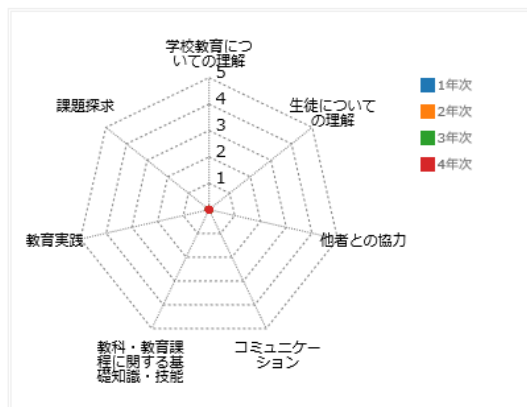
学生ID	
学生氏名	
ふりがな	
学部	
学科	

更新

学生の更新日時	未入力
教員の更新日時	未入力

エクスポート

印刷用画面



『必要な資質能力についての自己評価』は下記の内容で構成されています。
これら全ての項目を指定された期間に入力しなければなりません。

- a)どのような教師になりたいか
- b)今年次の教職課程の履修のまとめ
- c)自己評価シート
- d)今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能や次年度の目標、取り組むべき課題

▼a)どのような教師になりたいか▼

記入の時点で自分がどのような教師になりたいかを記入してください。この部分は、教職に対する考え方の成長を見るためのものですので、教職課程履修の過程で以前に記入した教師像に変化が生じて、修正・変更は行わないでください。

▼b)今年次の教職課程の履修のまとめ▼

毎年度末にその年度に履修した教職科目（A欄からF欄まで）について、振り返ります。特に印象深かった科目や、有意義だった科目、科目の履修を通して学んだこと、さらに知識を深めたいと思ったことなど、自由に記載してください。2年次以降はまとめを記入する学年のタブを選んで記入してください。

入する学年のタブを選択して記入。

1年次

2年次

3年次

4年次

1年次

編集期間:
学生の更新日時:
教員の更新日時:未入力

編集

『編集』をクリックすることで
編集可能になる。

a)どのような教師になりたいかを直接記入

どのような教師になりたいか	未回答
今年次の履修のまとめ	未回答
学校教育についての理解	【教職の意義】 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理

b)今年次の履修のまとめを直接記入

▼c) 自己評価シート▼

各学年が終了する段階で、その学年での教職に関する学習過程について自己評価を行い、該当する数字をクリックして選択します。また、「今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能等」についても記入します。1年次から4年次終了時（4年次1月）まで、毎年度自己評価を行います。自己評価における数字は、

1. 全くできていない
2. あまりできていない
3. まあできている
4. よくできている
5. とてもよくできている

を示します。自己評価の結果が悪くても、教職実践演習の成績には影響を与えませんので、自分自身で正直に評価を行ってください。また、その年度に「全くできていない」「あまりできていない」と感じた項目については、次年度以降に改善されるように自分自身で意識しながら授業やその他の活動に取り組むように心掛けるとよいでしょう。

学校教育についての理解	【教職の意義】 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。 1. 全くできていない ▼ 【教育の理念・教育史・思想の理解】 教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。 3. まあできている ▼ 【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。 2. あまりできていない ▼
生徒についての理解	【心理・発達論的な子ども理解】 子ども理解のために必要な心理 1. 全くできていない ▼ 【学習集団の形成】 学 末回答 1. 全くできていない 2. あまりできていない 3. まあできている 4. よくできている 5. とてもよくできている いじめや不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。 1. 全くできていない ▼

該当する番号をクリック
全項目で自己評価を行ってください。
数字を入力すると、p.5のようにグラフが作成されます。
グラフが均一かつ大きくなることを目指しましょう。

【自己評価シートに関する補足】

本学での「教育の基礎的理解に関する科目」、「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」は、それぞれ授業を通して身につけてもらいたい能力や理解してもらいたい知識などがあっておかれているものです。その本学での科目と自己評価シートの評価項目を対応させたのが9～11ページの表になります。成績通知書と免許の履修要項と照らし合わせながら、自分の教職課程の履修が今どの状況になるのか確認して、1年間の振り返りをしてください。

対応する科目を未履修の場合は1の全くできていない、を選ばなければならないというわけではなく、学校ボランティアや学校インターンシップなど、課程外の活動等を通して学んだ事項も含めて評価をしても構いません。

▼d) 今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能や次年度の目標、取り組むべき課題▼

現在の自分について、自己評価シートでの振り返りを踏まえ、今後教職を目指す上で、取り組んでいくべき課題等について直接入力してください。

今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能や次年度の目標、取り組むべき課題

本学学部または他大学等での履修のまとめ（大学院生/転・編入生のみ）
 》ここから雛形のレポートファイルをダウンロードして記入後提出してください。

私は、・・・が不足していると感じるので、次年度は・・・

自己評価シートでの振り返りを踏まえ、今後教職を目指す上で、取り組んでいくべき課題等について直接入力する。

記入が終わったら、必ず保存ボタンを押してください。
 キャンセルボタンを押すと、更新前の状態に戻りますので必要な場合のみ押してください。**注意！：保存ボタンを押さずに終了すると、記入した内容が失われますので、注意してください。**

保存 キャンセル

※未記入部分がある場合はメッセージが現れます。

自分なりに意見を持つことができますか。

未回答

私は、・・・が不足していると感じるので、次年度は・・・

未入力項目が1件あります。保存しますか？

はい いいえ

※1件未入力です

未記入箇所がある場合はメッセージが現れます。**必ず全て記入・選択してください。**
 ※後から続きを書くために一時保存する場合は、記入していない項目には未回答と表示されますが、気にせず次回入力時に修正してください。

必要な資質能力の指標と本学における対応する主な科目は次のとおりです。自己評価を行う際の目安にしてください。

必要な資質能力の指標		
	【項目】 指標	本学における 対応する主な科目
学校教育についての理解	【教職の意義】 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	教職概論 教職実践演習
	【教育の理念・教育史・思想の理解】 教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	教育原理 教職実践演習
	【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	教育制度と学校経営 学校教育社会学
生徒についての理解	【心理・発達論的な子ども理解】 子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	発達と学習の心理学 教職実践演習
	【学習集団の形成】 学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	特別活動と総合的な学習 の時間の指導法 教職実践演習
	【子どもの状況に応じた対応】 いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	発達と学習の心理学 教育相談の理論と方法 教職実践演習 特別ニーズ教育論
他者との協力	【他者意見の受容】 他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	教育実習 教職実践演習
	【保護者・地域との連携協力】 保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	教育制度と学校経営 生徒・進路指導の理論と 方法
	【共同授業実施】 他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	教育実習指導 教育実習 教職実践演習
	【他者との連携・協力】 集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	教育実習指導 教育実習 教職実践演習
	【役割遂行】 集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	教育実習 教職実践演習

必要な資質能力の指標		
	【項 目】 指 標	本学における 対応する主な科目
コミュニケーション	【発達段階に対応したコミュニケーション】 子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	発達と学習の心理学 教育相談の理論と方法 生徒・進路指導の理論と方法 教職実践演習
	【子どもに対する態度】 気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	教育相談の理論と方法 生徒・進路指導の理論と方法 教職実践演習
	【公平・受容的態度】 子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	教育相談の理論と方法 生徒・進路指導の理論と方法 道徳教育の理論と実践
	【社会人としての基本】 挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	教育原理 教科教育法 教育実習指導 教職実践演習
教科・教育課程に関する基礎知識・技能 教育実践	【教科】 教科教育分野の科目の内容について理解していますか。	教科教育法 教職実践演習 教科に関する科目
	【教科書・学習指導要領】 中高の教科書や学習指導要領の内容を理解していますか。	教科教育法 教職実践演習
	【教育課程の構成に関する基礎理論・知識】 教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	教育課程論
	【道徳教育・特別活動】 道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	道徳教育の理論と実践 特別活動と総合的な学習の時間の指導法
	【総合的な学習の時間】 「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	教育方法とICT活用の理論と実践
	【情報機器の活用】 情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	教育方法とICT活用の理論と実践
	【学習指導法】 学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	教科教育法 教育方法とICT活用の理論と実践

必要な資質能力の指標		
	【項 目】 指 標	本学における 対応する主な科目
教育実践 課題探求	【教材分析能力】 教材を分析することができますか。	教科教育法 教育実習指導 教育実習
	【授業構想力】 教材研究を生かした教科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	教科教育法 教育実習指導 教育実習 教職実践演習
	【教材開発力】 教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	教科教育法 教育実習指導 教育実習 教職実践演習
	【授業展開力】 子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	教科教育法 教育実習指導 教育実習 教職実践演習
	【表現技術】 板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身につけていますか。	教科教育法 教育実習指導 教育実習 教職実践演習
	【学級経営力】 学級経営案を作成することができますか。	教育実習 教職実践演習
課題探求	【課題認識と探求心】 自己の課題を認識し、その解決において、学び続ける姿勢を持っていますか。	教職実践演習
	【教育時事問題】 いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。	学校教育社会学 教科教育法

▼e) 記入した内容を修正する場合▼

上書き形式になりますので、修正したい内容を再度記入します。修正しない箇所は何も記入せずに更新してください。修正後は必ず保存ボタンを押してください。押さずに終了すると記入した内容が失われます。

課題探求	【課題認識と探究心】 自己の課題を認識し、その解決にむ
	2.あまりできていない
	【教育時事問題】 いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができていますか。
	1.全くできていない
今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能や次年度の目標、取り組むべき課題	私は、・・・が不足していると感じるので、次年度は・・・
本学学部または他大学等での履修のまとめ（大学院生/転・編入生のみ） 》ここから雛形のレポートファイルをダウンロードし提出してください	参照...
保存	キャンセル

修正しない箇所は何も記入せずに更新してください。前回の記入内容のまま反映されます。

変更内容を直接記入してください。

修正後は必ず保存ボタンを押してください。

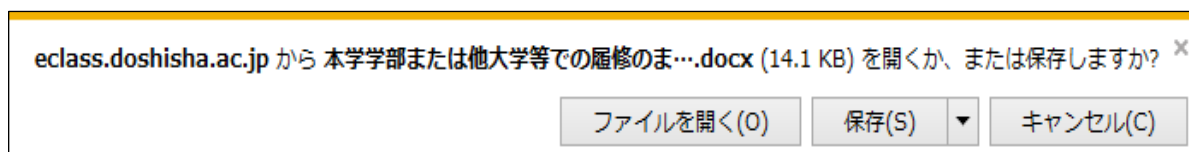
▼f) 【大学院生、転・編入学生対象】他大学での履修のまとめ▼

大学院生、転・編入学生のみ記入します。転・編入学生については、以下のマニュアルを参考に、様式をダウンロードして内容を記入した後、再度そのファイルを添付して保存してください。

今後教職を目指す上で、自分自身が身につけなければならないと感じている能力、知識、技能や次年度の目標、取り組むべき課題	私は、・・・が不足していると感じるので、次年度は・・・
本学学部または他大学等での履修のまとめ（大学院生/転・編入生のみ） 》ここから雛形のレポートファイルをダウンロードして記入後提出してください	参照...
保存	キャンセル

記入様式をダウンロードしてください。

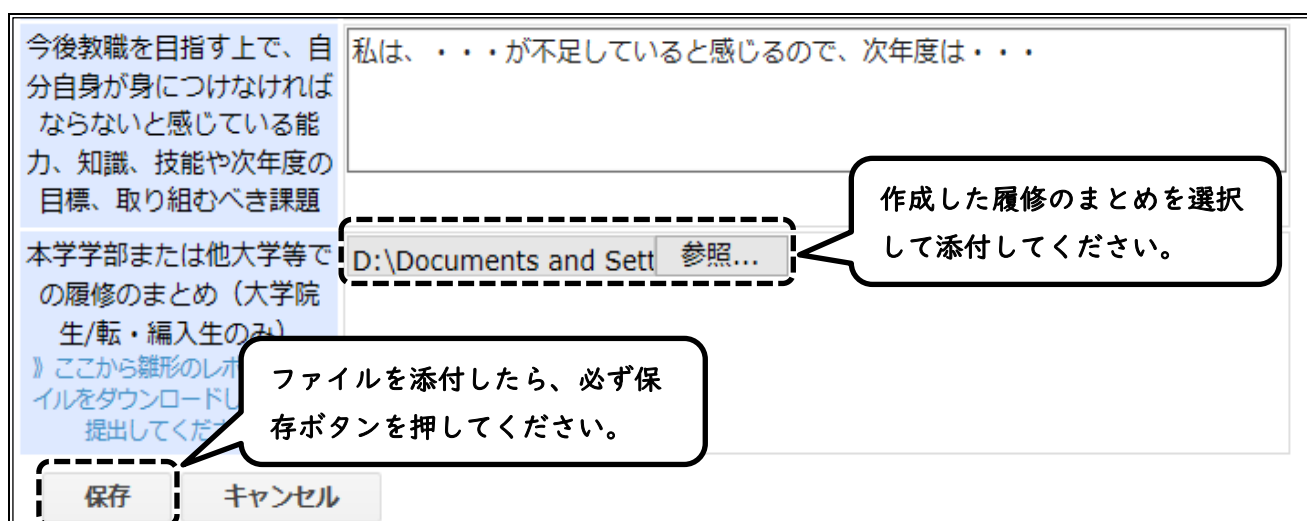
- ① ファイルをダウンロードして、保存した後、『本学学部または他大学等での履修のまとめ』を記入して、再度保存してください



《ダウンロードされる様式》

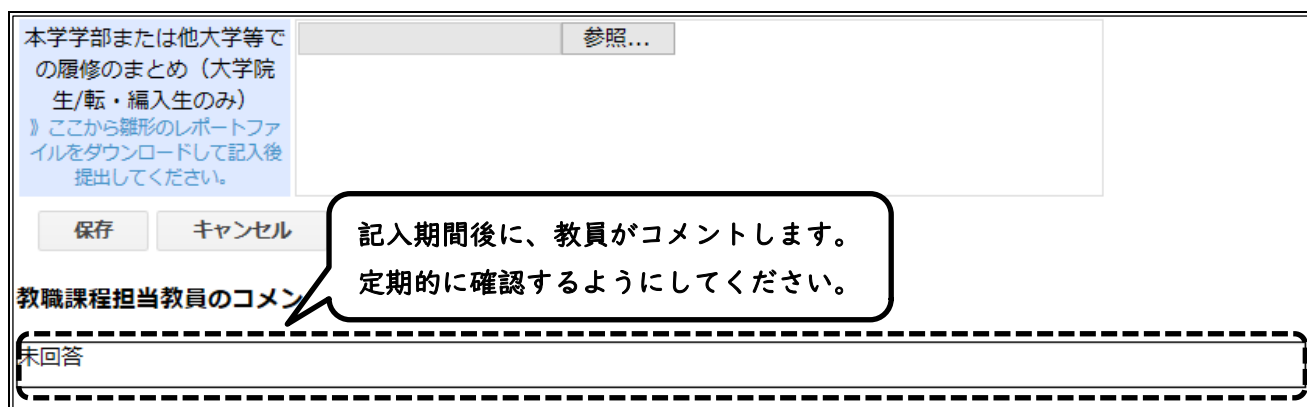
本学学部または他大学等での履修のまとめ（20●●年度～20●●年度）

- ② 記入後保存したファイルを履修カルテに添付します。



▼g) 教員のコメント▼

記入期間後に、教職課程担当教員が記入内容についてコメントします。今後の学習に生かすために、履修カルテを定期的に確認するようにしてください。



(2) 活動報告（介護等体験レポート及び教育実習レポート）

介護等体験事前指導レポート、介護等体験事後レポート、教育実習希望者説明会レポート、教育実習事前指導レポートは別途紙媒体で提出することになります。こちらは免許資格課程センター事務室でアップロードしますので、これらはそのままにしておいてください。

[コースリストに戻る](#)

教職履修カルテ

[»その他の教職に関する活動等](#)
[»面談記録](#)
[»活動報告（介護等体験レポート及び教育実習レポート）](#)
[»必要な資質能力についての自己評価](#)

免許資格課程センター事務室で Upload するので、入力不要。

(3) 面談記録

本学には両校地に教員養成サポート室を設けており、アドバイザーが教職課程に係るさまざまな相談に対応しています。アドバイザーの在室時間であればだれでも自由に相談することができます。また、免許資格課程センターの教員もオフィスアワーの時間を設けて、必要に応じて面談に対応しています。アドバイザーや教員との面談で得られたことなど自由に記入しますが、この欄の使用は任意です。（相談したからといって、必ずしもこの欄に記載しなければいけないということではありません。）自分自身が何を疑問に思い、どのようなアドバイスを得られたかをメモしておくような気持ちで記入してください。記載すべき事項がない場合は空欄のままで構いません。記載すべき事項ができたときに随時記入してください。

[コースリストに戻る](#)

教職履修カルテ

[»その他の教職に関する活動等](#)
[»面談記録](#)
[»活動報告（介護等体験レポート及び教育実習レポート）](#)
[»必要な資質能力についての自己評価](#)

面談記録をクリック

教職履修カルテ

カルテ名

面談記録

面談記録

教職学生情報

学生ID	
学生氏名	
ふりがな	
学部	
学科	

更新

更新日時

未入力

エクスポート

印刷

新規登録する

「新規登録する」をクリック

全ての項目を直接記入します。日時または期間は記入例に従って記入してください。
記入後は保存ボタンを押してください。

面談記錄

教職学生情報

学生ID	
学生氏名	
ふりがな	
学部	
学科	

更新

更新日時	未入力
------	-----

エクスポート 印刷用画面

新規登録

年月日	※次の書式で入力してください: 2016/06/06 または 2016/10/20~2016/11/01
担当者	
相談事項・得られたアドバイス等	

保存 キャンセル

記入後に保存ボタンをクリック

(4) その他の教職に関する活動等

本学での教員採用試験対策講座受講、学校ボランティア、学校インターンシップ、学習支援員、部活動の指導、スクール・インターンシップの履修、京都教師塾への参加など、授業以外で教職に関連する活動を行った場合に記入します。このような活動を積極的に行うことが望ましいですが、記載すべき事項がない場合は空欄のままで構いません。記載すべき事項ができたときに随時記入をしてください。

[コースリストに戻る](#)

教職履修カルテ

»その他の教職に関する活動等

»面談記録

»活動報告（介護等体験レポート及び教育実習レポート）

»必要な資質能力についての自己評価

その他の教職に関する活動を
をクリック

教職履修カルテ

カルテ名 その他の教職に関する活動等 ▼

その他の教職に関する活動等

教職学生情報

学生ID	
学生氏名	
ふりがな	
学部	
学科	

更新

更新日時 未入力

エクスポート 印刷用

新規登録する

「新規登録する」をクリック

全ての項目を直接記入します。日時または期間は記入例に従って記入してください。
記入後は保存ボタンを押してください。

その他の教職に関する活動等

教職学生情報

学生ID	
学生氏名	
ふりがな	
学部	
学科	

更新

更新日時	未入力
------	-----

エクスポート

印刷用画面

全ての項目を直接入力します。

保存ボタンを押すとその年のタブが作成されます。
作成後に編集したい場合は、編集したい年のタブを
選択し編集ボタンを押して編集してください。

編集後、編集画面の保存ボタンを押してください。
取り消しボタンを押すと編集前の状態になります。

新規登録

名称	学習支援ボランティア
場所	京都市立〇〇小学校
日時または期間	※次の書式で入力してください: 2016/06/06 または 2016/10/20~2016/11/01
活動内容・学んだこと等	〇〇が苦手な生徒に対して、教員の指導のもと、授業補助を行った。

保存

キャンセル

記入後に保存ボタンを
クリック

◎免許・資格に関する連絡

【掲示板】今出川校地：良心館１階掲示板

京田辺校地：知真館２号館２０２教室横掲示板

【免許資格課程センターHP】

<https://license.doshisha.ac.jp/>



◎免許資格課程センター事務室 連絡先

今出川校地：良心館１階 今出川キャンパス教務センター内
(Tel 075-251-3208)

京田辺校地：成心館１階 京田辺キャンパス教務センター内

※2025年９月29日（月）に、嗣業館１階に移転予定（詳細は掲示・HPを参照）

(Tel 0774-65-7048)